

竜光寺公園整備

ワークショップ

子どもが元気に遊ぶために、
大人が安全な場を作る

No.1

●ヒアリングのまとめ

竜光寺公園整備の目的は「子どもたちが安全・元気に遊べる場所づくり」にあります。

しかし、公園内の遊具は、整備後30年以上が経過しており、施設の老朽化が課題となっています。また、住民からは子ども達が安全に遊べる公園に対するニーズが高まっています。子どもが安全に遊ぶためには、①安全な遊具と②安全な環境が必要です。安全が保障されてこそ子どもが安心して元気に遊べるのです。

そこで広川町では町の中心部にあり、利用度が高い竜光寺公園のリニューアルに取り組むことになりました。今回、建設課では誰もが利用できる公園整備のため、広川町障がい者等自立支援協議会とグループホームに竜光寺公園の現状・課題・要望をヒアリングしました。

広川町障がい者等自立支援協議会からは、今ある公園は設備が整っていないので利用しにくい。でも公園がバリアフリー化されれば、障がいのある子どもたちも元気に遊ぶことが出来る。新しい遊具が楽しみなのももちろん、ここで様々な体験ができれば、近所の子どもたちと一緒に「子どもみんな」が元気に遊べるとのご意見をいただきました。

そしてグループホームからは、高齢者は外出を楽しむにしている。公園で花見や散歩をすると元気がでると聞きました。そこで子どもたちが元気に遊んでいたり、かわいいワンコがいれば、笑顔は倍増するそうです。時々イベントがあれば、賑わいを見に行くだけでも嬉しいのだそうです。

みんなが公園をどう使いたいかを聞いて、人をつないで公園を整備すると、みんなが公園を楽しむ利用できます。楽しさが連鎖して、みんな楽しくなる。それが子どもの安全を守ることになるのです。

広川町では、今後住民参画のワークショップを開催し、竜光寺公園のリニューアルに向け、「子どもたちが安全で元気に遊べる場所づくり」を進めていきます。

広川町障がい者自立支援協議会6団体



グループホーム2団体



銀杏の木



かすりの里